

## <対策のポイント>

海外におけるインフラ受注において、我が国が**価格競争だけで他の競合国に勝つのは困難**となってきたことから、質の高い**食のインフラ輸出を推進**するため、生産、製造・加工、流通、消費の各段階における様々な**フードバリューチェーン構築に係る技術の優位性・パッケージ化**等に関する調査・検討を行います。

## <政策目標>

我が国企業の海外展開の促進により、政府が取り組むインフラシステム輸出の拡大に貢献（約21兆円〔平成28年〕→約30兆円〔令和2年〕）

### <事業の内容>

### <事業イメージ>

**インフラ輸出技術利活用検討調査事業 17（17）百万円**

#### ○ 優位技術・パッケージ化の調査

我が国の**食のインフラに係る技術**について、現地調査や企業への聴き取り等を通じ、相手国のニーズ、我が国の**技術の優位性**、競合国の動向、**他の技術とのパッケージ化**（我が国の企業・ODAのみならず、現地・第三国企業との連携を含む）の可能性等を調査します。

#### ○ インフラ技術活用のための研究会の開催

**有識者によるインフラ技術活用のための研究会**を開催し、我が国の食のインフラに係る**技術の優位性とパッケージ化**、当該技術の利活用による**食のインフラ輸出の推進**等について検討します。

### <事業の流れ>



### フードバリューチェーン関連技術

